

# 平成 27 年度第 2 回遠野市総合計画審議会 — 議事概要 —

(開催要領)

- 1 日時 平成 27 年 5 月 7 日 (木) 午前 9 時 00 分～午前 11 時 30 分
- 2 場所 遠野市役所とびあ庁舎 大会議室
- 3 出席者

(1) 委員

会長	臼井 悦男	遠野市社会福祉協議会会長
副会長	荒田 良治	一般社団法人遠野市観光協会会長
委員	千葉 和	NPO 法人遠野エコネット代表
委員	菊地セツ子	遠野市食生活改善推進員団体連絡協議会会長
委員	河野 好宣	遠野市体育協会会長
委員	松田 希実	遠野市わらすっこ支援委員会副委員長
委員	菊池 一勇	花巻農業協同組合理事
委員	佐々木弘志	遠野商工会長
委員	小松 正真	一般社団法人遠野青年会議所理事長
委員	菊池香南子	遠野市校長会副会長
委員	佐々木國允	遠野市郷土芸能協議会会長
委員	菅沼 隆子	一般財団法人遠野市教育文化振興財団副理事長
委員	内館 充幸	遠野市区長連絡協議会会長
委員	海老 糸子	遠野市地域婦人団体協議会会長
委員	佐々木栄洋	公募
委員	高宏 美鈴	公募
代理	菊池 修市	遠野地方森林組合参事

(2) 遠野市

本田 敏秋	市長
菊池 孝二	副市長
藤澤 俊明	教育長
菊池 文正	経営企画部長
飛内 雅之	経営企画部まちづくり再生担当部長
菊池 永菜	経営企画部 ICT・医師確保担当部長
荻野 優	総務部長
沖館 譲	健康福祉部福祉課長
佐藤 浩一	産業振興部長
大里 政純	農林畜産部長
仁田 清巳	環境整備部長
小向 孝子	遠野文化研究センター部長
小田 光行	消防本部消防長
立花 信一	市民センター生涯学習スポーツ課長
多田 博子	教育部長兼子育て総合支援センター所長
鈴木 英呂	企画総括課長
澤村 一行	財政担当課長
千田 孝喜	まちづくり再生担当課長
伊藤 貴行	ICT・医師確保担当主幹

4 欠席者

委員	松田 克之	遠野市消防団団長
----	-------	----------

委員	千葉 純子	一般社団法人遠野市医師会会長
委員	菊池 一晃	遠野市民生児童委員協議会会長
委員	熊谷 義弘	遠野市PTA連合会会長
委員	木村 稔	岩手県南広域振興局経営企画部長
委員	鳥屋部 恵児	公募
委員	菊池 広樹	公募
委員	菊池 浩彦	公募

(議事次第)

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 出席者報告及び日程説明
- 5 諮問
- 6 審議
  - (1) 第2次遠野市総合計画基本構想(案)について
- 7 その他
- 8 閉会

(配付資料)

- 1 次第、名簿
- 2 第2次遠野市総合計画基本構想(案)
- 3 遠野駅舎・中心市街地活性化市民シンポジウムチラシ、まっちゃんプレスN02

## (議事概要)

### 1 開会

#### ○菊池文正 経営企画部長

おはようございます。早朝の開催にもかかわらず、ご出席いただきましてありがとうございます。ただ今から、平成27年度第2回遠野市総合計画審議会を開催いたします。

初めに、遠野市長からご挨拶を申し上げます。

### 2 市長あいさつ

#### ○本田敏秋 遠野市長

おはようございます。昨日まで大型連休でございまして、今日は5月7日、連休明けでいよいよ本格的に平成27年度がスタートすることにもなろうかと思えます。本日は、早朝からではありますが、臼井会長をはじめ、委員の皆さまには大変お忙しいところ、お集まりいただきましたことに感謝申し上げます。

本日は、第2次遠野市総合計画の基本構想を諮問いたしますので、よろしくお願ひします。

過日は、子育て環境のあり方について、大変真剣な議論をしていただきました。この審議の中で、確実な手応えを感じることができました。子育て環境、幼児教育や高等教育を含め、大きな曲がり角に立っております。そのあり方について答申をいただきましたので、しっかりと受け止めて、確実に実行する方向で、さらに体制を整えて、新しい総合計画、あるいは、まち・ひと・しごと総合戦略に位置付けていきたいと思ひます。

現在、市長と語ろう会を開催しております。平成27年度の当初予算210億8,000万円の内容、さらには、再生可能エネルギー、さらには、人口減少社会の中にあつて、コミュニティをどう維持するべきかという市民センター・地区センターのありようについて、率直な意見をいただいております。すでに、遠野町、土淵町、達曽部、松崎町、綾織町で開催しました。それぞれの地区で建設的な意見をいただいております。市民の皆さんは本当に色々な事を考えてくださっているのだと肌で感じながら、市長と語ろう会に臨んでいるところです。5月20日の青笹町を最終日として、残り6箇所を回ろうと思ひています。この中から総合計画、地方版総合戦略に遠野市のあるべき姿をどのように見出していくのかを、市民の皆さんと一緒に考えていきたいと思ひています。その様子なども委員の皆さまには、きちんと情報提供しながら、総合計画、地方版総合戦略に明確に、明るい展望として位置付けたいと思ひています。向こう10か年の計画でありますので、このように経済、政治を含め様々な情勢が刻一刻と変わっていく中において、ぶれないまちづくりの指針を示すことができるかが、この一年間にかかっていると思ひますので、よろしくお願ひします。

連休前の4月30日に、政策研究大学院大学に招かれました。政策研究大学院大学とは、東京の六本木にあり、国の政策を様々なかたちで、高い次元から提言、研究している大学院大学です。そこで、少子・高齢化、人口減少社会における政策形成に関する研究会というものがあり、研究会の座長は、かつて官房長官を務めた石原信雄先生でありますし、各省庁の元事務次官クラスによって構成されている参議というメンバーでした。約2時間、遠野のまちづくりについて説明してまいりました。40年前のトオノピアプラン、カントリーパーク構想から始まった、ぶれない遠野のまちづくりがあり、どぶろく特区につながり、わらすっこ条例につながり、遠野遺産認定条例につながっています。そして、市民センターの大規模改修でさらに磨きをかけ、市民の皆さんと一緒にまちづくりを進め、少子高齢化に立ち向かう小さな町の挑戦ということで話をしてまいりました。約2時間でしたが、色々な意見がでてきました。かつての厚生事務次官の辻先生からは、『市町村がいかにか企画立案能力を持って、その課題に挑戦するかが問われている。職員を含め市民力というものを、どのように形成するかが大きなカギである。県や国を頼ってばかりではダメだ。』という激励もいただきました。そのような中、我が遠野市は、市民力としては随所でカタチとなって見えてきていると思ひています。市民の皆さんによるボランティア活動、先般のさくらまつりの南部氏遠野入部行列における八戸市との交流、熊本県菊池市から10回目の訪問、また里帰りしますという仲間がいることが大変心強いです。これをどのような形で進めていくのが、我々に問われているのではないかと思ひます。

本日、この後に東北横断自動車道釜石秋田線釜石花巻間建設促進期成同盟会の総会が、あえりあ遠野で予定されています。釜石自動車道も全通に向けてカウントダウンが始まりました。また、国道340号立丸峠の小峠、大峠トンネルの建設も着工しています。交通の要衝としての遠野の位置付けが、大きく変わっていくことになります。

また、イコモスが橋野高炉跡を世界文化遺産にと勧告したとの朗報が飛び込んできました。また、震災復興の関連で、2019年ワールドカップラグビーの開催会場が、釜石に決まっています。周辺市町村の一つとして、このようなイベントでどのようにタッグを組んで、お互いに足らざるところを補い、特性を生かしあうという連携と交流を、どのように構築していくのかが大きな課題だと思います。我が町だけが良ければ良いという時代ではなくなっていることを踏まえて、広域連携、水平連携をどのような仕組みに持っていくかということが、大事な課題であると思います。

人口減少、地方創生が叫ばれています。この課題を一つひとつ丁寧に掘り起し、それを丁寧に組み立て、市民の皆さまと一緒に、皆さまに丁寧に説明するといったごく当たり前のことを当たり前のこととして進めていくことが極めて重要だと思っています。

5月12日には、市民の皆さまの手による遠野駅舎の未来を考える会、今日は会長さんも副会長さんも委員の一人として出席していただいておりますが、シンポジウムがあります。遠野駅舎の問題は、多くの方は正論であり、反対意見はありません。活用の問題と解体というJR側の意向に対し、どのように向かっていくかということについては、冷静に対応することが重要だと思います。このシンポジウムを通じて、対応を慎重に進めていきたいと考えています。JRは大企業ですので、いついかなるタイミングで押し切ってくるのかということも警戒しなければなりません。兵庫県福崎町の嶋田町長から、心強いメッセージをいただきました。我々の動きについて全面的に支援するという声も寄せられています。遠野郷人会の皆さんもこの問題については、全面的に協力するという声もあります。JR側とも対等に向かい合える環境が、市民の皆さんの力によって構築できると考えています。

このことも一言申し添えまして、委員の皆さんが、色々な視点に立って、それぞれの課題、プロジェクトについて、更なるお力添えをいただきますようお願い申し上げます。冒頭にああたつてのあいさつに代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

### 3 会長あいさつ

#### ○菊池文正 経営企画部長

続きまして、臼井会長よりご挨拶をお願いいたします。

#### ○臼井悦男 会長

おはようございます。ご出席いただきましてありがとうございます。

いよいよ、10年間の総合計画の基本構想の審議に入ることになります。委員の皆さんの所属している団体の声はもとより、周辺の皆さんの気持ち、3万市民を代表する気持ちで対応していただきたいと思っています。

いつも思っていること、感じていることを議論しながら、委員としての役割を果たしてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

### 4 出席者報告及び日程説明

#### ○菊池文正 経営企画部長

出席者報告及び日程の説明についてです。

本日、委員の皆さま方の出席状況は、25名中欠席の報告は、7番の菊池一晃委員、20番の木村稔委員、23番の菊池広樹委員、25番の菊池浩彦委員の4名です。12番の佐々木弘志委員は遅れるとの連絡がありました。現在は16名ですが、それ以外の方は遅れて出席されると思います。市の出席者については会議資料の2ページ目に記載しております。

次に、本日の配付資料について、ご確認をお願いします。

事前配布していますが、一つは次第と名簿、そして、本日の審議事項であります第2次遠野

市総合計画基本構想（案）です。また、本日配布しているものは、先ほど市長からも紹介がありました。5月12日の遠野駅舎中心市街地活性化市民シンポジウムのチラシ等です。

本日の予定ですが、このあと諮問を行い審議に入っていただきます。本日の終了時刻は、午前11時30分頃を予定しております。

今後の日程ですが、5月13日と5月18日の2回の審議会を経て、最終的に答申をいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

それでは、市長より諮問を行います。

## 5 諮問

### ○本田敏秋 遠野市長

諮問いたします。

遠野市総合計画審議会会長、臼井悦男様。遠野市長本田敏秋。第2次遠野市総合計画基本構想について。

第2次遠野市総合計画基本構想の策定にあたり、遠野市総合計画審議会条例（平成17年遠野市条例第23号）第1条の規定に基づき、諮問案を付して、貴審議会の意見を求めます。

よろしくお願いいたします。

## 6 審議

### ○臼井悦男 会長

それでは、次第の6の審議に入ります。今日を含めて3回の審議を予定していますので、次の審議につながる意見をいただければと思います。

(1)の第2次遠野市総合計画基本構想（案）について、説明をお願いします。

### ○鈴木英呂 企画総括課長

それでは説明に入ります。全体を3つに分けて説明します。一つ目は47ページまで、二つ目は48ページから52ページまで、三つ目は53ページから最後までとします。

\*下記資料を説明（約30分）

・第2次遠野市総合計画基本構想（案）の47ページまで

### ○臼井悦男 会長

確認したい事項等ありませんか。

このような資料もあれば良いとかの意見とか、何かありませんか。

### ○千葉和 委員

資料として、どこかにあったかもしれませんが、例えば、交流人口の資料もあれば良いと感じました。遠野まつりとか、あと、お盆、正月の帰省の人数が把握できているのであれば、地域づくりの応援として役立っていると思います。観光だけでなく、交流人口も把握できているのであれば、資料としてあれば良いと思います。

### ○臼井悦男 会長

意見として、受け止めていただきます。

8ページの年齢別人口が割合で示されていますが、全体の人口が減っていることが分かるように、9ページのような実数のグラフにした方が良いのではないかと思います。

### ○河野好宣 委員

10ページの純生産額についてですが、平成23年度に減少して平成24年度に増加していますが、減った要因は東日本大震災とされますので、増えたというよりは前の状態に戻ったといえるのではないのでしょうか。減った要因なども記載した方が、丁寧だと思います。

### ○菊池一勇 委員

15 ページの心の豊かさの世論調査についてですが、心の豊かさを重視する意見が多いとの結果ですが、国の施策は経済中心であり、本当にこのような結果になっているのか疑問があります。このとおりであれば良いことだと思いますが、これは、国民に公表されている資料ですか。例えばブータンのような国であれば、この結果も理解できるのですが…。

### ◆菊池文正 経営企画部長

国民生活に関する世論調査の結果は、内閣府で公表されています。今、地方版総合戦略が打ち出されていますが、その中で良質な雇用の場を創出し、安定した所得を得て、人が定住する、それが若い人であれば、結婚して子どもを育てるという好循環をうたっています。その中の一つに田園回帰という言葉があり、それが心の豊かさを重視するということにつながっているのではないかと思います。ふるさとに帰って、人間本来の生活を営むのが望ましいという考え方が増えてきていると思います。遠野市でも、永遠の日本のふるさと遠野を標榜するにあたり、これらのことも念頭に置いて施策に生かしていきたいと思います。

### ○高宏美鈴 委員

このような会議で、よく感じるのですが、普段使わないようなカタカナ言葉が多いと思います。例えば 15 ページのモータリゼーションなどです。ニーズとかワイフスタイルは、分かりますが、モータリゼーションは、自動車が普及したくらいの表現の方が分かりやすいと思います。そのような言葉が多いと感じました。

### ○臼井悦男 会長

21 ページの産業別就業人口の推計について、第1次産業と第3次産業の割合を推計して、第2次産業を差し引いて設定するようにしていますが、第2次産業がぶれているように感じます。第1次、2次、3次も推計してから、100%にならない場合はならして求めても良いのではないかと思います。

### ◆菊池文正 経営企画部長

推計する上で基礎となるデータをどこに置くかという課題があり、確定するものが求められなかったので、今の推計方法にしています。その辺りについても意見をいただきたいと思います。

### ○千葉和 委員

農家は兼業が多いと思うのですが、この資料を見ただけでは分からないと思いました。農家の数が、あらわれる部分は、他にあるのでしょうか。

### ◆鈴木英呂 企画総括課長

これまでの部分をまとめて回答します。

先ほどの交流人口の推移については、資料編として別に掲載することとしています。ただし、観光施設やイベントによらない、地域を応援する交流人口については、把握可能かどうかを含めて検討させていただきたいです。

カタカナ言葉についてですが、再度確認して分かりやすい表現にしていきたいと思います。

8 ページの年齢別人口については、実数のグラフを作成し検討します。

農家数の推移については、資料編としてこの部分とは別に掲載することとしています。

### ○佐々木弘志 委員

21 ページの推計方法について（ア）では5つの回帰式のうち4つを使っていて、（イ）では5つの回帰式のうち3つを使っていますが、同じ方法でやった方が良いのではないかと思います。違う方法にした理由は、何があるのでしょうか。

○佐々木栄洋 委員

5つの回帰式すべてに当てはめてみたところ、推計式のあてはまり具合の良し悪しで精度が変わってくるので、精度が悪い、信頼性の低い式を除いたもので推計結果を出したということだと思います。

○佐々木弘志 委員

推計にあっては、なぜ、その計算式を採用したのかの説明が必要と感じました。

◆新田正宏 副主幹

今の説明のとおり、決定係数が高い回帰式を採用しているので、(ア)では4つの式、(イ)では3つの式をもとに平均を取ったものです。

◆鈴木英呂 企画総括課長

次回までに、この部分をもう少し分かりやすく説明できるよう修正します。

○千葉和 委員

アンケートの結果を考慮して計画をまとめていくものと思いますが、34ページの結果のまとめについて遠野市住民意向調査の部分に2番目に高い「緑豊かな自然環境と調和・共生したまち」が入っていない理由を教えてくださいたいと思います。

◆鈴木英呂 企画総括課長

ここでは、基盤整備等の部分を優先してまとめました。アンケートの集計結果とグループインタビューの結果については、資料編に分かりやすいように掲載したいと思います。

○松田希実 委員

24ページの市民ニーズの把握について、子育て世代のニーズ調査の回収率はかなり高く良いと思いますが、住民意向調査の方は回収率が43.7%で、これで全体の意見として考えて良いのか疑問に思いました。

また、31ページの高齢者アンケートの回収率は、どの程度だったかを教えてくださいたいと思います。

◆鈴木英呂 企画総括課長

遠野市住民意向調査の回収率は43.7%で、わらすっこニーズ調査に比べると低いですが、この割合でニーズが把握できるものと解釈しています。

高齢者アンケートの回収率については、調べてお知らせします。

○佐々木栄洋 委員

この計画書の色使いやデザインに、ルールは設けていますか。ルールを設けて作成した方が見やすく良いと思います。

また、図表の番号が振られていませんが、一般的には振る事の方が多いと思います。表に単位が入っていたり入っていなかったりするので、他の資料と見比べて検討していただきたいと思います。

また、第1次産業の1について漢数字、算用数字が混在しているので、統一した方が良いと思います。

○臼井悦男 会長

確かに六次産業は、第を付けずに漢数字を使っています。正しい表記を確認していただきたいと思います。

では、続いて説明願います。

○鈴木英呂 企画総括課長

それでは、二つ目の説明（基本構想）に入ります。よろしくお願いします。

\*下記資料を説明（7分）

・第2次遠野市総合計画基本構想（案）の48ページから52ページまで

○臼井悦男 会長

何か確認したいことは、ありませんか。

○河野好宣 委員

基本理念ですが、創造という言葉は新たに作って確立するという意味であるという認識です。市民の皆さまで作り上げ、確立し、さらに進めていくことが大切だと思いますので、例えば、進化と発展から、進展といった表現もあります。「創造と進展」のような、進めると言う意味の言葉が良いと思います。

○佐々木國允 委員

創造というよりは、地域づくりの視点から、遠野にある財産を生かしながら発展させるという考えが一般的で分かりやすいと思います。「遠野スタイルの発展」がよいと思います。

○臼井悦男 会長

49ページに市民と行政の協働という表現がありますが、この部分では市民と行政が対等で物事を進めているというのとは、イメージが違うように感じました。

○鈴木英呂 企画総括課長

それでは三つ目の説明（大綱1～5）に入ります。よろしくお願いします。

\*下記資料を説明（約15分）

・第2次遠野市総合計画基本構想（案）の53ページから最後まで

○臼井悦男 会長

何か確認したいことは、ありませんか。

○千葉和 委員

54ページの大綱1の下の図には『山里の景観を守り育てる』とありますが、景観とはあくまで自然環境の見た目です。私は、景観よりも自然環境の中身について危惧しており、昨年の審議会でも川のことについて憂慮している意見があったと思います。長くなりますが、例えば『山里川の環境・景観を守り育てる』にしてはどうかと思います。

55ページの大綱2で少子高齢化が遠野の大きな課題となってきます。少子化対策として大事なものは、わらすっこプランの推進だと思いますので、これにウエイトを置いて進めていただきたいと思います。全国的に見ると人口が減っていない地域もあり、そこでは思い切った少子化対策を行っているという事例もありますので、遠野市としても積極的に進めていただきたいと思います。

○佐々木國允 委員

58ページの大綱5についてですが、実際に進めていくのは行政と市民ですので、最も大切なのは市民の意識改革だと思います。よって、意識改革に関する事業も盛り込んでいただきたいと思います。

55ページの大綱2と57ページの大綱4に健康づくりとあり、特に大綱2では『生活習慣病や介護予防対策を推進』とありますが、具体的な活動の計画はあるのでしょうか。私はこの部分について1つの考えを持っています。健康で明るく暮らすために、どの様な形で推進していくかが大切です。以前、市では『かるしお』という減塩プロジェクトを行っていました。あの様な形で取り組みを進めるべきだと思います。



### ○菊地セツ子 委員

食改善の団体として、昨年度より国立循環器病センターの先生を招いて、かるしおレシピというものを勉強しています。塩分が一日6グラムまでの減塩メニューなので結構難しいのですが、市職員の方にも理解していただきたいと思います。現在は、主婦層や若い母親層に理解を深めていただこうと頑張っていますが、スケジュール等の問題もあり男性にはなかなか理解いただく機会が無いのが現状です。

### ○小松正真 委員

56 ページの大綱3には、ふるさと納税が触れられていない事について、触れなくて良いのかご確認ください。

この大綱3と最後のページのA3の参考資料について、大綱3では遠野のイメージを大切にしたい誘客の展開とありますが、参考資料には誘客の展開が入っていません。参考資料にも入れた方が良いでしょう。

参考資料の観光の振興について、観光情報の充実とは具体的に何か教えてください。

### ◆佐藤浩一 産業振興部長

A3の参考資料については、現在の総合計画を参考としてつけているものです。大綱3の内容に合わせて、今後整理します。

観光情報の充実については、インターネットを使った観光情報の提供をして、観光客の利便性の向上を図るものです。

### ◆澤村一行 財政担当課長

ふるさと納税についてですが、遠野市では、全国的な商品等のサービス競争のようなことはしておりません。あくまでも遠野市を応援する寄付金としてお願いしています。

また、で・くらす遠野で、交流人口の拡大という視点で取り組んでいます。

### ○千葉和 委員

全体の進め方についてですが、資料が事前配布されている場合は、基本的には目を通してくださいますので、特に説明が必要な部分だけを説明していただく形でも良いと思います。

### ○臼井悦男 会長

14 ページで、地方財政のために合併したとの印象を与える記述がありますが、それもそのとおりですが、もっと、広域でまちづくりを推進した方がよいとのことがメインであるので、検討願います。

### ○菊池一勇 委員

54 ページに再生可能エネルギーの記述がありますが、これは、遠野市として具体化していく段階に入っていますか。

### ◆鈴木英呂 企画総括課長

今年度は3つのリーディングプロジェクトを進めています。1つ目は、木工団地と水光園において、木の皮であるパークを今までは有料で捨てていたものを熱源にする事業を進めています。2つ目は、市内全部の街路灯のLED化を進めるために今年度は調査を行い、来年度から順次交換していきます。3つ目は、既に設置していますが、風の丘や市民センターなどに電気自動車の充電設備を設置しています。

また、条例で景観を守ることから、メガソーラー等太陽光発電の大きな事業が、遠野市に持ち込まれている状況にあります。その部分は牧場として使われているため、事業者と遠野市で話し合いを進めている状況です。

### ○菊池一勇 委員

将来的に、遠野市として、メガソーラー等太陽光発電を推進していく構想ですか。そうであ

れば具体的に記載したほうが良いのではないのでしょうか。

◆菊池文正 経営企画部長

市とすれば再生可能エネルギーは積極的に取り組んでいく考えです。それが、新エネルギービジョンの内容です。ただ、全国で乱発されている状況にあるので、自然との調和、景観との調和を図るためにビジョンの策定に合わせて条例を制定しました。メガソーラーについては、基本的には進めるとしつつも不確かな部分があり、現在協議しており回答を待っている状態です。市としては、慎重に対応していく必要があると考えております。

○千葉和 委員

市長と語ろう会が進んでいる状況だと思いますが、各地区で出された意見は、どのように反映されるのでしょうか。地域によってかなり問題点が違うと感じていますので、細かく地域の実情に合った形で取り入れてほしいと思います。

◆鈴木英呂 企画総括課長

24 ページからの市民ニーズの把握の最後に、市長と語ろう会の意見集約を盛り込みたいと考えています。

○菊池香南子 委員

54 ページからの大綱 1 から大綱 5 の下にある図のまわりにある 6 項目は、政策なのか施策なのかが判断できません。政策であれば、言葉をもう少し工夫したほうが良いと思います。

◆鈴木英呂 企画総括課長

基本的には政策を入れるようにしています。今後、審議を通じて、どの部分を入れていくか、手直しする事になります。

○佐々木國允 委員

大綱の中に、進化まちづくりで検討した内容は含まれていますか。

◆菊池文正 経営企画部長

基本構想の部分なので、具体的な施策までは記載していませんが、第 1 次進化まちづくりでの第三セクターの改革、第 2 次進化まちづくりの地域コミュニティが大綱 5 に含まれています。

○海老糸子 委員

54 ページの大綱 1 で社会資本整備に関する諸計画とありますが、諸計画ではなく都市計画マスタープランと明記した方が良いのではないのでしょうか。

◆仁田清巳 環境整備部長

都市計画の一番の基本は、都市計画マスタープランです。ほかに道路、水路、橋梁、公営住宅等の計画があるため、まとめて諸計画としています。

○松田希実 委員

この計画は分かっている人だけが分かる内容だと思います。中高生や子育てをしている若いお母さんにも分かりやすいものにしてもらいたい。今まで関心がなかった人たちに向けて、目に入るだけでなく、気持ちに入る言葉づかいなどを考えてもらいたいです。

○荒田良治 副会長

56 ページの大綱 3 の観光の部分が、2 行しかなかったのもう少し増やしてほしいと思います。

○菊池修市（代理）

同じく、56 ページの大綱3の林業の部分も2行しかなかったのももう少し増やしてほしいと思います。木材価格が低迷している現状です。

あと、皆さんが見たときに分かりやすい表現にしていきたいと思います。

○高宏美鈴 委員

51 ページの参考資料には、審議の必要な内容が分かりやすく書いてあったので、前もって考えやすいと思いました。しかし、全てを読まないとその場所がすぐに分からないので、特に考えなければならない部分を別資料等で示していただけると助かります。

○臼井悦男 会長

あと2回の審議を予定しています。前回の子育て環境のあり方の審議では、専門部会を設けて意見を出し合いました。結構、色々な意見も出されました。

次の進め方について、確認したいと思います。

○鈴木英呂 企画総括課長

10年前の総合計画策定の際は、1回目は全体説明と全体審議を行い、2回目には2班に分かれて審議しています。3回目は、全体でまとめるという形で進めました。

○臼井悦男 会長

2班に分けて審議をすると意見が多く出て良いと思いますが、まとめるのに苦労するのではないのでしょうか。

○鈴木英呂 企画総括課長

2回目の審議で意見を出し切っていただく形となり、3回目に臨むと言う形になります。

○臼井悦男 会長

どちらかと言えば、2班に分けて審議をするほうが良いと思いますが、いかがでしょうか。意見が多く出ても、まとめることは、事務局にお願いすることとして。

（「よし」との意見あり）

それでは、次回は2班に分けて審議したいと思います。次回の資料については、今日の資料を使うようお願いします。

7 その他

○臼井悦男 会長

事務局から何かありますか。

○菊池文正 経営企画部長

特にありません。

○臼井悦男 会長

皆さん、何かありますか。ないようですので、進行を事務局にお返しします。

8 7 閉会

○菊池文正 経営企画部長

臼井会長、ありがとうございました。ここで、市長からごあいさつを申し上げます。

○本田敏秋 市長

みなさん、大変ご苦労様でした。早朝から有意義な議論、検討をいただいたと思います。

基本理念、目指すべき方向等では創造、進化、発展、あるいは進展と意見がありましたが、前向きな議論を展開していただいたと思います。横文字でない分かりやすい言葉づかい、長時間の説明を要さずに何を議論してほしいのか的を絞って説明すべきという事務局への意見もいただき、丁寧な当たり前のことを踏まえた対応をしていかないといけないということを改めて感じました。みなさまに御礼申し上げます。

今日の議論の中で、5つの大綱については行政の感覚からするとバランスが重要で、何にもすべて気を使わなければなりません。これが、公平であり公正であるとの考え方です。行政のばらまきだという部分もありますが、ばらまきがあつてこそ、いろいろな分野、各項目、課題に、まんべんなく気を使わなければならないというのが行政の立場です。それはそれとして、大綱の中で位置付けることは必要なことだと思っております。

今日の議論を聞いていて改めて思ったことは、人口減少、それに伴う少子化、これが危機的な状況であることはいわずもがなであったと思います。そのために、いかに歯止めをかけ、遠野の元気、活性化を見出していくのかとなれば、産業振興であり、雇用の場の確保、家族が安心して暮らせる環境をつくるのが大きな課題であると思っております。

少子化、人口減少、さらには雇用、産業振興の分野に大綱の5つの中にあるものを特出ししながら、どの様な戦略、構想で、少しでも歯止めをかけて、人口減少の中で一定の定住人口を確保していくのかということを確認に示しておくことが、計画にとって重要であると思っております。

従いまして、この二つの項目について、臼井会長とも相談させていただき、5つの大綱のほかに、再掲となると思いますが、課題に対してどのようなプログラムを持つのか、どのような構想を持つのかを改めて論点を整理しながら、皆さまに提示することが必要だと受け止めました。その点につきましては、会長とも相談させていただき、次回には、ご提示できるようにしたいと思っております。

大変有意義な審議だったということに、お礼の言葉にかえさせていただきます。ありがとうございました。

#### ○菊池文正 経営企画部長

長時間ありがとうございました。次回の審議会は5月13日に、あえりあ遠野で行います。

以上を持ちまして、平成27年度第2回遠野市総合計画審議会を終了させていただきます。大変ありがとうございました。